

# 七友会 だより

## 一年を振り返って

七友会会長 佐原 和典

暖冬かと言われた今年も2月には例年のような寒さや雪が降り、あいかわらず北国の冬を実感させられました。また地震や津波など国内外の災害には驚かされましたが、新年早々の事件では、別の意味で考えさせられるものがありました。

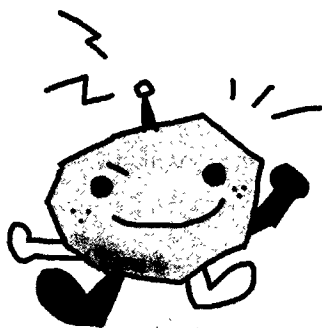
岩手大学が国立大学法人となって、まもなく1年を迎えます。学部も様々な面で変わってきていますが、この1年で大きな変化はなんといっても「ロースクールの設置断念」かと思います。

北東北三大学の連携や統合の話とも密接に関わりながら進められた「ロースクール」が結果的には、「人員確保の困難」ということで断念しなければならなかったことは、学部や大学ばかりでなく、期待が大きかっただけに同窓会としても非常に残念でした。このことは、学部の長期的計画の見直しを意味していますし、学部や大学全体の質の向上、イメージアップへの影響も大きいと思われます。少ないパイの取り合いに、地方の大学が臨む難しさを知らされた気もしました。

さて、同窓会とは言いますと、6月になんとか評議員会を開催しましたが、私を含めて仕事で忙しくなり、ほとんど手がつけられない状態が続いています。会報の発行や住所不明者の確認作業など、内容を少なくしたつもりでしたが専念する職員がいないためとはいえ、たいへん申し訳なく思っています。ただ、平成18年に予定しています「同窓会」は、なんとか開きたいと考えていますので、会員みなさんの御協力をお願いします。場所は、前回の20周年が盛岡だったということもあり、全国的に集まりやすい「東京」が最有力視されています。平成17年度の事業計画に上げられればいいのですが、遅くとも新年度内にはお知らせしたいと考えています。御意見等は、できるだけホームページやE-mailで事務局の方をお願いします。

ところで、3月の声をきくと、やはり卒業式を思い出します。年毎に、時間が経つのが早くなるような気もしますが、今年も別れと旅立ちの時がやってきます。法人化後、初の卒業生となる皆さん、むずかしい社会状況の中、就職や進学などそれぞれの道を探し求めて一歩、踏み出されたことを賞えるとともにこれからの活躍を期待しています。微力ながら、同窓会が何かのお役に立てばと思っています。

目次	
一年を振り返って	1
評議員会報告	2
平成15年度事業報告	2
平成16年度事業計画	2
役員改選	2
平成15年度会計決算書	3
監査報告書	3
平成16年度会計予算書	4
寄稿文	4-5
同窓会開催について	6
「就職ガイダンス」開催	6
新学部長に砂山先生	6
4名の先生が退官	6
あとがき	6



Iwate  
University  
岩手大学

## ■ 評議員会報告

すでにホームページで公開されておりますが、会報上でも以下のとおり主な内容を掲載いたします。今年度の事業については、詳しい内容を準備するには時間がたりませんでしたので、御了承下さい。

## ■ 平成15年度事業報告

平成15年度は、前年度に引き続き「同窓会設立20周年記念事業」のまとめ作業と会員の住所確認作業を中心におこなう予定でしたが、担当者の仕事が多忙なためほとんど進んでいません。

会報『七友会だより』も1回の発行にとどまってしまいました。

一方、立食パーティ形式でおこなわれた「在学生と同窓生による就職に関する意見交換会」は、100名以上の参加を得て、たいへん好評でした。平成16年度も同様の会を共催したいと考えています。

15年度のおもな活動は次の通りです。

平成15年	6月28日(土)	平成15年度評議員会 (盛岡ユースホステルにて、14名が参加) 議題：14年度事業報告・決算報告 15年度事業計画・予算 評議員会終了後、親睦会 ※高塚学部長も参加 (鶯宿温泉・偕楽苑にて)
	10月22日(水)	人文社会科学部へ寄附(奨学寄附金として)
	10月31日(金)	会報『七友会だより』第19号発行・会員へ送付
	11月7日(金)	就職に関する意見交換会(人文社会科学部) 佐原会長はじめ約15名の同窓生が参加 全体では教職員・在校生含め100名を超える大盛況
平成16年	3月23日(火)	岩手大学卒業式(岩手県民会館) 学部送別祝賀会(生協食堂にて) 同窓会代表として佐原会長、足立副会長が出席

## ■ 平成16年度事業計画

平成16年度は、前年度に引き続き、同窓会設立20周年記念事業のまとめの作業をおこなうとともに、住所確認作業を中心に進めたいと思います。

学部と共催の「就職ガイダンス」は昨年度と同様の立食パーティ形式で実施を検討するとともに、学部広報委員会とも協力して学部のイメージアップを図っていききたいと思います。

## ■ 役員改選

※改選された役員は次の通り(任期：平成16年6月～平成18年の評議員会)

会 長	佐原 和典			
副会長	菊地 良一	高橋 享孝	足立 慎悟	
理 事	大澤 雅昭	大志田 穰	晴山 農	藤村 紀行
	八重樫 映	高嶋 才司	長沢 秀則	夏井 正悟
	三浦 光子	棟方 範幸	山口 毅	栗林 健司
監 査	小松山 修	大谷 敬		
幹 事	内堀真結子			
顧 問	落安 昭三	塩田 勝美	大畑 荘一	高塚 龍之(学部長)

## 平成15年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計決算書

## 1. 一般会計

&lt;歳入&gt;

(単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
前年度繰越金	4,206,631	4,206,631	0	普通預金(3,306,329)、定期預金(900,302)
会費	4,400,000	4,680,000	280,000	234名×20,000円
雑収入	398	253	△145	
計	8,607,029	8,886,884	279,855	

&lt;歳出&gt;

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1. 事業費	4,200,000	1,796,392	2,403,608	
1) 会報発行関係	1,700,000	448,750	1,251,250	
ア. 会報等印刷費	1,000,000	204,750	795,250	会報印刷、封筒代
イ. 会報等郵送費	700,000	244,000	456,000	会報郵送費
2) 会員活動援助費	300,000	304,399	△4,399	親睦会費用援助、卒業証書入筒
3) 卒業記念品贈呈費	200,000	200,000	0	卒業記念積立(23, 24期分)
4) 支部援助費	1,200,000	323,640	876,360	関東支部ホームページ維持管理運営費
5) 文化事業補助	250,000	0	250,000	
6) 寄附金	500,000	500,000	0	人文社会科学部へ寄付
7) 諸費	50,000	19,603	30,397	
2. 会議費	580,000	240,350	339,650	
1) 評議員会会議費	500,000	240,350	259,650	評議員会諸経費
2) 諸会議費	80,000	0	80,000	
3. 事務費	800,000	418,209	381,791	事務用品、ホームページ協賛金、振込手数料
4. 特別積立金	1,000,000	1,000,000	0	
5. 雑費	100,000	100,000	0	事務謝金
6. 学部設立30周年記念積立	800,000	800,000	0	
7. 同窓会設立20周年記念積立	800,000	800,000	0	
8. 予備費	327,029	0	327,029	
計	8,607,029	5,154,951	3,452,078	

## 平成15年度収支決算

歳入合計 8,886,884  
 歳出合計 5,154,951  
 差引残高(翌年度繰越) 3,731,933

## 2. 特別会計

&lt;歳入&gt;

(単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1. 前年度繰越金	36,058,270	36,058,270	0	年度末積立金=次年度繰越金
2. 新規積立金	2,800,000	2,800,000	0	
3. 利息	13,694	8,142	△5,552	
計	38,871,964	38,866,412	△5,552	

&lt;歳出&gt;

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1. 積立金	38,871,964	38,866,412	△5,552	
1) 特別積立金	24,795,206	24,791,627	△3,579	特別積立、中期国債ファンド償還分
2) 卒業記念積立金	2,642,636	2,642,269	△367	
3) 学部設立30周年記念積立	6,129,102	6,128,332	△770	
4) 同窓生設立20周年記念積立	5,305,020	5,304,184	△836	
計	38,871,964	38,866,412	△5,552	決算額=翌年度繰越額

## 監査報告書

平成15年度岩手大学人文社会科学部同窓会会計決算書について監査したところ、決算書のとおりであることを確認しました。  
 平成16年6月12日

監査員 小松山 修 ㊟  
 大谷 敬 ㊟

## 平成16年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計予算書

### 1. 一般会計

<歳入>

(単位 円)

科目	予算額	備考
前年度繰越金	3,731,933	普通預金(2,831,414円)、普通定期預金(900,519円)
会費	4,400,000	220名×20,000円
雑収入	253	利息
計	8,132,186	

<歳出>

科目	予算額	平成15年度予算額	備考
1. 事業費	3,750,000	4,200,000	
1) 会報発行関係	1,500,000	1,700,000	会報発行、20周年記念CD-ROM作成
ア. 会報等印刷費	800,000	1,000,000	
イ. 会報等郵送費	700,000	700,000	
2) 会員活動援助費	350,000	300,000	親睦会・交流会等
3) 卒業記念品贈呈費	100,000	200,000	25期分積立
4) 支部援助費	1,000,000	1,200,000	関東支部(ホームページ維持費、盛岡ふるさと会費)、仙台支部
5) 文化事業補助	250,000	250,000	学部交流関係他
6) 寄附金	500,000	500,000	人文社会科学部へ寄附
7) 諸費	50,000	50,000	慶弔費
2 会議費	580,000	580,000	
1) 評議員会会議費	500,000	500,000	評議員会諸経費
2) 諸会議費	80,000	80,000	
3. 事務費	800,000	800,000	事務用品、データ管理費、ホームページ協賛金等
4. 特別積立金	1,000,000	1,000,000	
5. 雑費	100,000	100,000	事務謝金
6. 学部設立30周年記念積立	800,000	800,000	
7. 同窓会設立30周年記念積立	800,000	800,000	
8. 予備費	302,186	327,029	
計	8,132,186	8,607,029	

### 2. 特別会計

<歳入>

(単位 円)

科目	予算額	備考
1. 前年度末繰越金	38,866,412	
2. 新規積立金	2,700,000	卒業記念(10万)、特別積立(100万)、学部30周年(80万)、同窓会30周年(80万)
3. 利息	8,142	
計	41,574,554	

<歳出>

科目	予算額	備考
1. 積立金	41,574,554	
1) 特別積立金	25,796,449	
2) 卒業記念積立金	2,742,871	25期生分卒業記念品贈呈費
3) 学部設立30周年記念積立	6,929,722	
4) 同窓生設立30周年記念積立	6,105,512	
計	41,574,554	

—寄稿文—

## 岩手大学ミュージアム開設1年

情報メディアセンター 岩手大学ミュージアム館長 岡田 幸助

岩手大学は、120有余年の長い歴史と誇れる伝統を持っております。大学の法人化が叫ばれ始めた頃より、大学で生まれた教育研究成果を収録、整理し、広く一般の方々に展示・公開してはとの機運が持ち上がり、岩手大学ミュージアム設立準備委員会が平成12年11月29日に発足しました。その後多くの方々のご努力により、3年後の平成15年10月1日に岩手大学ミュージアムがオープンした。

オープン1年前の平成14年10月12日に開館に弾みを付けるべく記念講演会を行いました。東京大学の林良博農学生命科学研究科長(元東京大学総合博物館長、元国立大学博物館等協議会会長)による基調講演、黒沢弥悦「牛の博物館」学芸員、山本玲子「啄木記念館」学芸員、海妻矩彦「岩手県立博物館」館長の3名のパネラーならびに岡田館長の司会による「岩手大学ミュージアムに期待するもの」と題したパネルディスカッションが行われました。

このような準備に向けた熱意と所蔵する展示内容が文部科学省から評価される事となり、平成14年度に採択された地

域貢献特別支援事業から約3,000万円がミュージアム開設に向けた自然観察園の遊歩道整備、農業教育資料館のインフォメーションシステムの設置、植物園内の樹木解説板、本館の展示関係、ガイドブック印刷等に使用されました。

平成15年10月10日、ミュージアム本館の開館式が行われ、平山健一学長と岡田館長によるテープカットを執り行い、一般公開されました。平成15年10月31日にミュージアム開館記念式典ならびに作家の高橋克彦氏と家井三千子教授による記念対談が行われ、高橋氏からミュージアムへの熱い期待と多くの注文が寄せられました。

岩手大学ミュージアムは、法人化により情報メディアセンターの一部門として再編され、農業教育資料館、農学部附属植物園、教育学部自然観察園、獣医学科標本室を包含した「岩手大学まるごとミュージアム」と銘打った運営を行っており、大学のキャンパスそのものも豊かな自然に恵まれた「エコミュージアム」としての性格もあります。

現在、ミュージアム本館では「北上川とその流域の豊かな生活環境を目指して」、「地域史研究の進展と岩手大学」、「農林畜産業と岩手大学」、「家畜のいろいろとその解剖模型」を展示しています。

農業教育資料館には宮沢賢治、鈴木梅太郎関連の資料、鳥類標本などが展示されています。その建物は、大正元年に建てられ、平成6年に重要文化財の指定を受けております。2階の講堂は、各種講演会やコンサートなどの会場としても利用されており、平成16年11月27日に開かれたコンサートでは、賢治が在籍した時代から使っているピアノが美しい音を奏で、聴衆を感動させました。

農学部附属植物園には北水の池、賢治縁りの樹木、石川啄木の妻、節子生誕の地、開学記念のイチヨウ、山辺の松、メタセコイアがあります。最近、上田新小路の標識を建てました。この町名の11番地で節子が生まれました。遊歩道には胆沢ダムの木材チップが敷き詰められ、歩くともとても気持ちが良いと評判です。

獣医学科標本室には教材として使用された標本が展示されています。現在は見られなくなった病気や珍しい病気のホルマリン標本が2,000点あります。この標本室は予約制ですが、ご希望があればできるだけ案内するように努めています。一部は本館でも常時展示していますからご覧下さい。

自然観察園は盛岡高等農林学校の植物園として整備されたもので、現在は特設美術科卒業生が製作した石彫、賢治と学友の写真を焼きつけた石碑、ひょうたん池、岩手山と早池峰山の築山があり、市民に開放されています。季節ごとの花や紅葉も見ものがせません。

大学ミュージアムの使命は大学で生み出された教育研究成果の標本資料の収集、整理、保管、展示にあります。大学には植物標本16万点、考古資料1万点、掛け図数百本、鉱物標本数千点、芸術作品数千点、器具・模型数百点が現在眠っています。

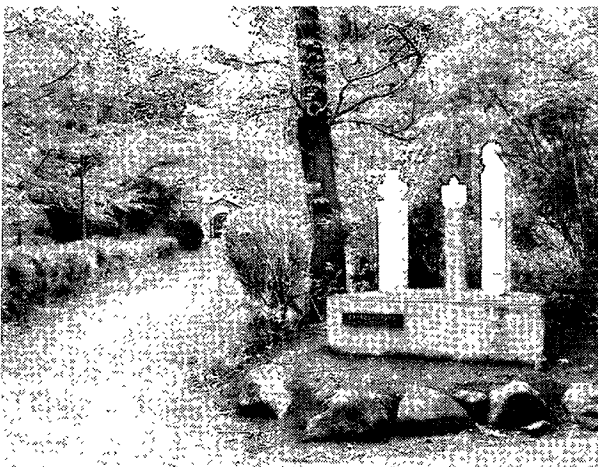
これらを順次整理し、データベース化して参ります。これらの作業には莫大な人力と経費を要します。保管の場所も確保しなければなりません。これら未整理標本資料の一部は科学研究費の研究成果公開促進費を獲得して、須田裕名誉教授、名久井文明・芳枝氏、沼宮内茂氏によりなされてきましたが、今後のたゆまぬ努力が必要です。なお、同窓生の手許で保管されている標本類や資料がございましたら、本ミュージアムの充実のため是非寄贈願います。

本ミュージアムを支えている組織に「解説ボランティアの会」があります。8回に渡る講義を受講した方々の中、約40名の方が解説ボランティアとして登録し、見学者の説明に当たっておられます。その熱意は大したもので、本年10月16日に企画しました賢治ツアーに参加された約150名の一般市民を案内してもらいました。解説ボランティアの年齢層は20代から年齢を感じさせない80代までの多岐にわたり、彼ら自身も勉強になると大喜びで、逆に私達に色々な知識を教えて下さるなど、2人3脚の良い関係になっております。

新しい企画として、新入生に「岩手大学ミュージアム学」の授業を全学共通教育の選択科目として17年度から開講します。担当講師はミュージアム展示物と関連した全学の先生方が交代で担当します。本講義の目的は、これらの講義を通して、自分達が学ぶ大学の歴史を知り、自分達の大学に誇りと意欲を持って今後4年間の学習に取り組む基礎付けにもらう事にあり、加えて「課題研究・解決能力」の創製に役立てたいと考えております。

最後に本館常設展示室に松尾鉦山の絵を展示して下さった佐々木一郎名誉教授、気仙杉で林業振興のブースを作った住田町関係者、「北上川とその流域の豊かな環境を目指して」の展示にご協力を頂いた国土交通省東北整備局、岩手県、金属鉱業事業団、木材チップを寄贈下さった国土交通省、胆沢ダム工事事務所、その他開設のためにご協力と応援を頂いた多くの方々に感謝申し上げます。

今後とも同窓の皆様の御支援をお願い致します。



ミュージアムアプローチモニュメント  
「子供の王国」浪岡奈津子作

## — 同窓会開催について —

この件に関しては、20周年記念同窓会開催直後から、次回予定の30周年記念までには、あいだがあきすぎるのでは…との意見もあり、評議員会でも検討したところ、25周年にあたる平成18年に開催を予定することになりました。開催場所や日時などの意見を会員の方から広く求めた上で、平成17年度の事業計画にあげることにしてはいましたが、会報発行の遅れなどで思うように進んでおりません。開催場所としては、全国から集まりやすいところということで東京が有力です。アンケートをとる時間もなくなりましたので、御意見のある方は、同窓会事務局に気楽にお寄せ下さい。郵便・FAX・E-mailどれでもかまいません。

よろしくお祈りします。

## — 「就職ガイダンス」開催 —

平成16年度の就職ガイダンスは、昨年と同様に「懇談会」形式をとって平成16年12月17日（金）に、中央食堂で開催されました。同窓会からは体験スピーチをお願いした高橋瑠美子さんら8名が出席し、全体では100名を越す参加者がありがたいへん盛況でした。同窓会の体験スピーチとともに就職内定した4年生の報告もあり、3年生にとっては和やかな中にも真剣な懇談会となったようです。就職活動の参考になれば幸いです。次年度も引き続き開催する予定です。なお、同窓会からは開催費用の一部が援助されています。

## — 新学部長に砂山先生 —

高塚龍之学部長の任期満了による学部長選挙がこのほど行なわれ、法学・経済課程の砂山克彦教授が選出されました。国立大学法人となり、また、ロースクール設置の断念と学部にとっても重要な時期でもあり学部発展のために尽力してほしいと思います。任期は平成17年4月から平成19年3月までの2年間です。

砂山 克彦教授（労働法）

労働事件（不当解雇とか、過労死事件など）に関する裁判例の研究が専門

## — 4名の先生が退官 —

平成17年3月末をもって退官される先生方は、次の4名の方々です。永い間ありがとうございました。同窓会よりささやかですが記念品を贈ります。

人間科学課程	山崎 達彦教授（一般社会学）	社会意識研究の行為論的研究、日本近代化過程に関する社会学的研究
国際文化課程	菊田 紀郎教授（国語学）	日本人の漢字観の研究、中世日本語に見る漢字音の解釈
国際文化課程	金子 琢磨教授（現代ドイツ文化・文学）	20世紀のドイツ文化・文学研究、フランツ・カフカ、表現主義研究
法学経済課程	小野 善康教授（憲法）	政党についての憲法学的研究、立法過程の憲法学的研究

## □□□ あとがき □□□

新年早々、我が耳をうたがう事件。学部学生が銀行強盗。学部ばかりか大学内が大きすぎです。とうとう岩手でも、こんなことがおきてしまったのかとおどろきましたが、影響は、いろんなところに出てきそうです。

大学は、専門的知識を学び研究する場だと思いますが、まずは身近な自己分析と経済状況の客観的把握に努めてほしいものです。流れに流されない、「自己」を築いてこそその大学では…

（佐原）

**岩手大学人文社会科学部同窓会**

Tel(留守録)&Fax : 047-336-3945

E-mail : office@shichiyukai.net  
info@jinsya.com

郵便宛先 ※人文社会科学部内「七友会」宛  
020-8550 盛岡市上田3-18-34 岩手大学

**ホームページもご覧ください!**

http://www.shichiyukai.net/  
http://www.jinsya.com/ [関東支部]